



# THE HANDFUL EIGHT

ハンドフルエイト

## ハンドフルエイト

4人用拡張ルールです。2つの2人組チームに分かれてスピードを競い合うゲームです。何回かのラウンドを繰り返し行います。各ラウンドでは最高2点までの得点が加算されます。最初に7点を獲得したチームが勝ちとなります。

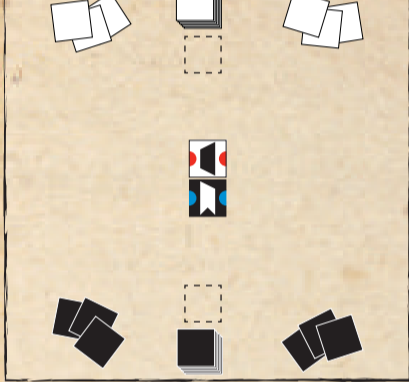
「ハンドフルエイト」は基本ルールとよく似ていますが、新しく手札を引くためにはチームメイトとしっかり協力をしなければいけません。

## 準備

プレイヤーは2人1組のチームに分かれます。各チームメイト同士は隣り合わせで座り、1つのチームが白のタイルを、もう片方のチームが黒のタイルを取ります。どちらの山札もシャッフルし、カードを引くためのデッキを裏向きにして自分たちの前に置いておきます。その後、白のタイルを置きそれに合う黒のタイルをテーブルの真ん中に置きます。各プレイヤーはデッキから3枚のカードを見えないようにして手札に加えておきます。



プレイの例：チーム内では山札と捨て札を共有しますが、手札はそれぞれのプレイヤーが3枚ずつ持ちます。



## 準備

お互いにプレイヤーは相手プレイヤーと目を合わせて向き合います。「オミガ！」の掛け声でゲーム開始です。すべてのプレイヤーが同時進行でプレイを行います。できるだけ早く、配置ルールに従いながらタイルを置いていきます。チーム内の2人のプレイヤーは捨て札を共有し、いつでもタイルを捨てることができます。ただし、新しいタイルを山札から引く際にはお互いに手札を0にしなければいけません。その後、それぞれ3枚ずつタイルを引きます。山札が空になった場合は捨て札を再度裏向きにして山札を再利用します。

## 得点計算

相手側のテーブル端までタイルをつなげるか、相手のタイルの背後にタイルを配置できれば得点を獲得します。タイルが置ける限りどちらのチームも得点を獲得することができます。どちらのチームも得点せずタイルが置けなくなる場合は、そのラウンドはどちらのチームも無得点です。誰もタイルが置けなくなったらラウンドは終了し、得点計算をします。（最大2得点できます）

## 得点計算の例

以下のウェブサイトで得点計算の例を公開しています。

[jelly2games.com/omiga](http://jelly2games.com/omiga)

## ゲームの終了

ラウンド終了時にお互いのチームは得点をメモしておき、もし7ポイント以上得点を獲得していればそのチームが勝者となります。もしお互いのチームが7点目の得点をとった場合は、もう1ラウンド行いスコアが上回ったチームが勝者となります。

A game by Andreas Schleicher

© Dionysos Games 2017

